

harmony

— 岩手県立中部病院 地域連携便り VO1.18 —

— ごあいさつ —

副院長兼医療連携部長
鈴木 善明



新年あけましておめでとうございます。

2016年の流行語大賞は「神ってる」で2年連続のプロ野球ネタでした。私としては「君の名は。」、「アモーレ」、「ポケモンGO」、「PPAP」あたりを予想していたので、去年同様ピンと来ませんでした。

昨年もいろいろな事が有りましたが、台風10号による甚大被害を受けた皆様には心よりお見舞い申し上げますとともに、復興が迅速に進むことを願っております。他には北上市を主会場にして希望郷いわて国体・希望郷いわて大会の開催が記憶に新しいかと思えます。当院では冬季競技のアイスホッケー（花巻市開催）から始まり、北上市で開催された正式競技の救護班として、さらに院長、副院長、看護師長は天皇・皇后両陛下の行幸啓（釜石→花巻→北上）、皇太子殿下の行啓（花巻→北上→奥州）の移動医療救護班としても活動しました。

今回の「harmony」は、北上歯科医師会と花巻市歯科医師会の協力を頂いて昨年12月に行った口腔内一斉調査、新設された認知症ケアチームの紹介、循環器内科の診療紹介、栄養管理室からの減塩の日給食、緩和ボランティア紹介などの内容になっております。今後も「harmony」を定期発行して当院の方針や取り組みなどをお知らせする予定です。忌憚のないご意見を頂ければと思っております。

2017年が幕をあけました。寒さが厳しい日が続きますが、お身体を大切になさって下さい。本年もどうぞよろしくお願い致します。

ちゅうぶ 日和

第5回

「メダリスト」の巻



このコーナーでは、中部病院内のいつもはなんとなく見過ごしている「こんなところがあったんだあ」をピックアップして紹介します。



Photo No.5 【なまえ】「阿部仁さん」
【所在地】総務課管財係

10月22日に行われた、全国障害者スポーツ大会「2016 希望郷いわて大会」に、当院の総務課管財係に所属する阿部仁さんが出場し、25m平泳ぎで優勝、25m自由形で第2位の成績を見事に収めました。

阿部さんはこれまでも第13回大会で自由形・平泳ぎ共に優勝、第15回大会で自由形優勝・平泳ぎ第2位と、目覚ましい成績を収めていて、先日岩手県医療局長表彰も受けました。今後の活躍にも注目していきましょう。

医科歯科
連携

口腔内一斉調査

12月10日、入院中の口腔ケアの介助が必要な方54名を対象に、地域歯科医師12名を含むNSTメンバーにより、口腔内の一斉調査を行いました。第1回目の一斉調査は平成22年度に実施しており、今回同様、入院患者の口腔アセスメントや口腔清掃についての評価を行っています。

当院は、平成21年の開院時より、地域歯科医師会の協力のもと、入院患者の口腔機能維持管理を行ってきました。

これまでの取り組みにより、開院当初と比較し、院内スタッフにおける口腔ケアに関する意識は高くなり、入院患者の口腔内の状態も改善してきているように見受けられます。

前回から継続された調査をすることで、問題点が明らかになり、今後のスキルアップを目指すことができます。より多くの患者の口腔内が整い、口腔機能維持向上、確実な栄養摂取へとつながる情報になることを期待しています。

協力していただいた、歯科医師会の先生方に感謝申し上げます。



循環器内科より
ご案内

閉塞性動脈硬化症・重症虚血肢に対する カテーテル治療のご紹介

閉塞性動脈硬化症と重症虚血肢に対するカテーテル治療のご紹介をします。

まず「閉塞性動脈硬化症」です。その名の通り動脈硬化により血管が狭窄や閉塞することにより生じます。狭窄・閉塞が下肢動脈に起こると下肢へ十分な血液が供給されなくなります。そのため安静時は無症状なのに、ある程度の距離を歩行するとふくらはぎが張って痛くなるという「間欠性跛行」と言われる症状が出現します。数分間休むと症状は改善し、また同じくらいの距離を歩行することができます。

次に「重症虚血肢」についてです。これは動脈硬化の進行した状態で、足先にほとんど血液が流れないほどひどい狭窄・閉塞が存在する状態です。安静時にも疼痛があり、もっと程度が悪くなると足趾や踵がチアノーゼとなり壊死してきます。閉塞性動脈硬化症が進行して重症虚血肢となる患者さんもありますが「間欠性跛行の自覚症状がなかったのに、安静時の疼痛や壊死で病気が発覚する」という患者さんもたくさんいます。血流がないため重症虚血肢に生じた傷は小さなものであってもなかなか治癒せず、1年近く傷が治っていない・・・という場合もあります。傷が感染すると切断が必要となるケースもあります。

当院では、平成23年から閉塞性動脈硬化症や重症虚血肢の患者さんに対してカテーテル治療を行っています。鼠径部に局所麻酔を行い、大腿動脈から直径2mm程度のカテーテルという管を挿入しその中にガイドワイヤーという細い針金をいれます。ガイドワイヤーを狭窄・閉塞している血管に通します。その後に風船で病変部位を拡張し、必要であればステントを挿入します。手技時間はだいたい2-3時間程度で、翌日や翌々日には退院できる方がほとんどです(重症虚血肢で傷を治癒させるため入院が長くなる患者さんもいます)。

カテーテル治療よりも手術を選択した方がよさそうな患者さんは当院の血管外科にお願いし手術してもらう場合もあります(手術とカテーテル治療のハイブリット治療などもあります)、重症虚血肢の創は皮膚科、形成外科でも一緒に治療してもらう場合もあります。

間欠性跛行のある患者さんや下肢に難治性の潰瘍などがある患者さんを見た場合、一度当科に御紹介していただけると幸いです。

循環器内科 齊藤 秀典

立ち上げました



認知症ケアチーム

高齢者にとって具合が悪くて入院するということは、心身共にとても負担の大きなことです。認知症の方、ご家族の方にとって、この負担は「認知症が悪化した？」と思われる行動をおこしてしまいます。当院では、認知症症状の悪化を予防し、身体疾患の治療を円滑に進められるように、病棟スタッフと認知症ケアチームが連携し、適切に対応しています。

チームメンバー

第1 神経内科長:田村乾一 (写真左)

認知症認定看護師:小原久美子 (右から2番目)

医療社会事業士:菅原拓也 (写真右)



こちら臨床研修病院



2年次研修医の研修期間は、残すところあと3か月。今回は2年次研修医を代表して鈴木珠美子先生より。

あと少し。うまくいけば初期研修を卒業できる予定です。

1年目は右も左も分らず、風のように日々が過ぎ、毎日をこなすことで精いっぱいだったと思います。2年目になって職場や仕事に慣れてきたとは思いますが、見逃しやミスは残念ながら無くなりません。「失敗しないので。」やら「いたしません。」が最近はやっていますね。私も大好きで某ドラマをみっていますが、実際うまはいきません。しかし、失敗しないということはとても重要なことです。なぜなら我々が失敗するということは患者さんに害が及ぶ可能性があるからです。なので、私が手術するとしたらドクターXに執刀して欲しいです(笑)。私も少しでも医師として近づけるように勉強し、経験しなければならぬと思います。一生勉強なんて言うけれど本当にそう思います。色々書きましたが、総括すると、学生から医師へと変貌する2年間でした(まだ途中なような気がしますが…)。面白い同期、温かい病院で研修できて良かったと思います。今後も患者さんに優しく、自分に厳しい医師を目指して精進したいです。御意!!!



お食事処 ちゅうぶ



入院した人だけが味わえる入院中のお楽しみ「給食」どんなメニューがあるの?

第2号は 毎月28日の「かるしお給食」のご紹介

【11月28日の献立】

- ・かるしおで美味すぎ! 彩り野菜のキーマカレー
- ・さやいんげんのごまポン酢和え
- ・蒸しなす酢醤油かけ・フルーツ(みかん)・ほうじ茶



かるしおで美味すぎ! 彩り野菜のキーマカレー

減塩食レシピを競う「第3回S-1g大会」で、県立中央病院の栄養管理科がグランプリを受賞したレシピです。カレーの辛味に、トマトの酸味とリンゴジュースの甘味をバランス良く取り入れることで、減塩でも物足りなさを感じないように工夫されています。



ボランティア活動中！ 第4回

緩和ケア病棟ボランティア

当院では7つの分野でボランティア活動が行われています。このコーナーでは号替わりで各ボランティアグループをご紹介します。

受付・案内 / 花壇 / 読み聞かせ
生け花 / がん情報サロン「虹」
おでんせの会菜園 / 緩和ケア病棟



緩和ケア病棟では、緩和ケアに関する研修を受けたボランティアさんが、お花手芸・アロマ・喫茶・イベント企画・音楽の5つのグループが活動中です。病棟内の生け花や、患者さんに好評のアロママッサージ、コーヒーやお茶のお振る舞いの他、今月は、季節に合わせクリスマスリースを作って病室に配ったり、クリスマスコンサートを開催するなど、患者さんには四季を感じ楽しんで頂けるよう工夫しています。

岩手県立中部病院 理念と基本方針

理念 私たちは、生命の尊厳と人間愛の精神に則って、地域の人々の生命と健康を守り、地域医療の充実・発展に貢献します。

- 基本方針**
1. 安全・安心な医療を提供するために、患者さんとの相互協力による患者参加型のチーム医療を推進します。
 2. 質の高い医療を提供するために、がん治療や救急医療などの医療機能を充実・強化します。
 3. 中部圏域の基幹病院としての機能を果たすために、地域の医療機関、介護・福祉施設、行政との連携を密にします。
 4. 臨床研修や生涯教育体制の充実を図り、医療スタッフの育成に努めます。
 5. 職員が自分の仕事に誇りを持てるようにするために、働き甲斐のある職場をつくります。
 6. 上記5項目を実践するために、健全な病院経営を行います。



地域医療福祉連携室からのお願い

◇当院は予約制です◇ 基本的に外来診療は予約制とさせていただきます。

患者さんが予約なしに紹介状をお持ちいただいた場合、長時間お待たせしたり、外来の状況によっては予約を取り直して後日来院いただくこともありますので、お手数をおかけしますが、緊急の方以外はFAXで事前予約のお申込をいただくようご協力をお願いいたします。

岩手県立中部病院 地域医療福祉連携室
〒024-8507 岩手県北上市村崎野 17 地割 10 番地
TEL 0197-71-1511 FAX0197-71-1881 (地域連携室専用)
URL <http://www.chubu-hp.com/> (平成28年12月)

